

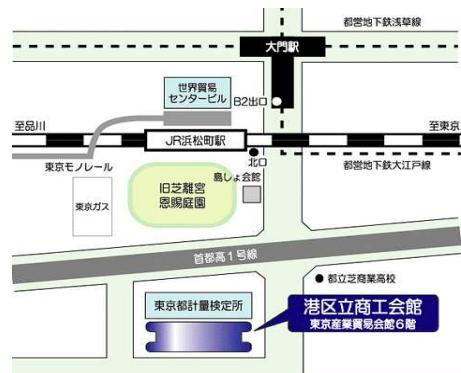
第31回連続学習講座《重慶大爆撃 戦略爆撃の思想を問う》

8月30日 (金)

午後6時～9時

資料代500円

会場：港区立商工会館6F研修室／TEL03-3433-0862



侵略日本、抗戦中国

一日中関係の今を考えるために

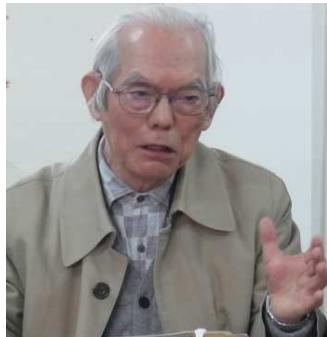
対談：王選さんと西川重則さん

コーディネーター：聶莉莉さん（東京女子大学・文化人類学）



王選さんは、細菌戦裁判原告代表を務め、現在は「NPO法人731部隊・細菌戦資料センター」理事・中国細菌戦被害者協会代表として日中をまたいで精力的に活動しています。

西川重則さんは、平和遺族会全国連絡会代表・重慶爆撃の被害者と連帯する会事務局長として平和問題と日中問題をテーマに活動しています。

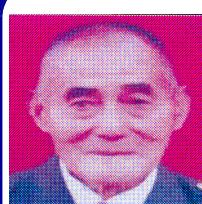


最近の日本政府は、平和や人権を損なうような施策を次々と行い、本来は政治の原点に据えるべき中国・アジアに対する侵略戦争への反省を拒否するような誤った立場を取っています。さらに安倍首相は憲法を改悪して平和主義を放擲し再び軍国主義と際限のない軍事大国化の道を歩もうとしています。

しかも日本社会は排外主義に毒されて抗する術を失った情です。この恐るべき反動的国策を打ち破るために、何よりもその根源に切り込むべきです。

問題の核心は、日本が自分の犯した中国・アジアに対する侵略戦争を心底反省し真摯に謝罪する立場を取ろうとしなかったことにあります。

「日清戦争から50年に及ぶ中国侵略戦争、さらに台湾・中国東北・朝鮮の植民地化」という恥すべき歴史を克服するためには、まず徹底的に歴史の真実に向き合うことからスタートするしかありません。日中の信頼と友好の第一歩は、日中関係の原点をなす戦争問題に切り込み、日本の加害責任を明確化することが不可欠です。そこで今回の学習会は「侵略日本、抗戦中国」というテーマを選びました。日中の民衆が自由に語り合うことが重要なのではないでしょうか。ぜひ皆さんも積極的に討論に参加して下さい。



李宏華さん、1930年生まれ、湖南省常德市桃源県細菌戦被害者の遺族です。



易友喜さん、1964年生まれ、湖南省常德市武陵区細菌戦被害者の遺族です。

はるばる中国から来られるこのお二人も参加されます。
どうか皆様、ふるってご参加ください！

◆証人の採否に向けた重要な口頭弁論

一第25回重慶大爆撃裁判のお知らせ *10月2日(水)15時半～東京地裁103号法廷!!

「重慶大爆撃の被害者と連帯する会・東京」代表・前田哲男

2013.7.12

連絡先：事務局長・西川重則 〒186-0003 国立市富士見台1-7、1-11-108 TEL/FAX 042-574-9210

重慶大爆撃訴訟弁護団(団長・田代博之弁護士)連絡先：弁護団事務局(一瀬法律事務所・元永／もとなが)

〒105-0003 東京都港区西新橋1-21-5 TEL03-3501-5558 FAX03-3501-5565 Email:info@ichinoselaw.com

◆Webサイト <http://www.anti-bombing.net> ブログ『重慶大爆撃とは?』 <http://blog.goo.ne.jp/dublin-ki>



↑原告団の
シンボルマーク